

東山温泉街活性化推進計画に基づく 東山温泉観光協会HPリニューアル

A2200514 栗城 崇匡・A2200522 宗田 亜友美・A2200524 田中 優紀

【目的】

東山温泉はここ数年、市内入込み・芦の牧温泉・市内ホテルの宿泊客はほぼ横ばい状態であるのに対し、平成4年をピークに宿泊客が減少している。また、ホテルや旅館が倒産、廃業したため、全体の収容人数が減少し、温泉街全体の宿泊数に影響を与えている。そのため、東山温泉観光協会は東山温泉街活性化推進委員会を発足させ、景観のあり方や宣伝の仕方など多くの問題点を改善しようと努めている。そこで、東山温泉街活性化推進計画にもとづいてウェブページを改善しようとしている東山温泉観光協会と共に、東山の伝統文化を多くのユーザーに分かりやすく知って貰うためウェブページのリニューアルを考えた。

東山温泉観光協会の要望・意見を交え、内容が分かりやすく、利用しやすい表現を考えながらウェブページを制作していく。

【制作意図】

東山温泉の特徴を紹介するサイトを公開することで全国にある同じ規模の温泉街との差別化をはかった。「會いたい昔」という活性化推進計画のコンセプトのもと、どこか懐かしく、東山温泉の魅力につながる芸妓文化や周辺マップなどを全国に情報を発信し伝えることができるウェブページの制作を目指す。そのために、以下にあげられるコンテンツを中心に東山温泉らしさがウェブページからユーザーに伝わるように、重点的に考えて制作することにした。

- トップページ ユーザーに東山温泉の第一印象が良いイメージ
- 東山芸妓 芸妓は、他の温泉には無い、東山温泉独自の文化であり、歴史が長い
全国では珍しい東山芸妓を特集するコンテンツ
- 温泉街マップ 周辺の店や情報を発信。東山温泉街にある珍しい史跡も紹介できる温泉街マップ

【制作過程】

[1] 調査

- 「温泉」で思い浮かべるものをピックアップ(KJ法)
- 温泉から連想される一般的なキーワードを探る
- 全国にある温泉地の観光協会や旅館組合等のウェブページの調査
 - ・デザインの雰囲気が温泉らしいウェブページをピックアップ
 - ・コンテンツ調査
- 東山温泉のウェブページと比較し、東山温泉のウェブページには何が必要なのか検証する

[2] 協議

- たたき台(仮)のウェブページの一部を試制作し、東山温泉協会と協議
- どんなイメージで制作するかなどの方針や進み具合を報告
- 東山温泉協会からの具体的な要望・意見を聞く
- ウェブページには
 - エリアの情報(季節の情報[写真]、東山のイメージを出す)
 - どこに聞いたらよいか分からない、おおまかな情報を求めている
- 芸妓には
 - 若い芸妓もいる
 - 独自のしきたり、芸能が先輩芸妓から若手芸妓へきちんと伝承されている
- マップには
 - 4つの小径を分かりやすく紹介
 - 整備されているところをピックアップ
 - 東山温泉の個性を出したい
 - 季節感のあるもの

[3] 検証

- 協議の結果報告をまとめ、要望・意見や改善点として分ける
- 東山温泉のウェブページには何が必要なのか再度改めて挙げてみる

[4] 取材・調査

[5] 制作

- ツールは、Flash MX とコンテンツのレイアウトにDreamweaver MXを用いた。

[6] 考察



図1 トップページ



図2 芸妓ページ

図3 温泉街マップのページ

【考察】

活性化推進計画のもと、東山芸妓や温泉街マップといったコンテンツを制作した。今回の制作では東山温泉観光協会の要望や意見を生かして、新たに東山温泉に何が必要なのかを考えることで、その伝えたいものが具体化され、分かりやすかつ東山温泉らしさをユーザーに感じさせることができるのではないかとと思う。

今後は、東山温泉のウェブページを見たユーザーが実際に現地におもむくかが問われるのが挙げられる。また、ほかのコンテンツを見直し、修正していくことが課題となる。